

広島県立農業技術センター  
100th  
Anniversary

# 百年史

広島県

広島県立農業技術センター  
100th  
Anniversary

百周年



## 序

県立農業技術センターは、明治33年（西暦1900年）に設立以来、一世紀の間、日本の縮図とも言われる、南は温暖な瀬戸内沿岸島しょ部から、北は中国山地の北部地域までの多様な自然環境のもとにある本県農業の技術的拠点として、歴代研究者の真摯な努力と関係各位の厚い御支援により、大きな役割を果たして参りました。

一方、近年、我が国の農業・農村をめぐる状況は、少子高齢化や経済の国際化の進展、人口や産業の都市への集中といった変化の中で、様々な問題に直面しており、農業施策のあり方についても、施策の効率性や効果といった観点から見直しを迫られています。

このため、本県では、時代の変化に対応し、21世紀にふさわしい新たな農業・農村の創造を目指して、「広島県新農林水産業・農山漁村活性化行動計画」を策定しております。

この中で、「産業として自立できる農林水産業の確立」、「農山漁村における快適な生活空間の創出」、「農林地の公益的機能の発揮」に重点的に取り組むこととしております。

そのためには、県全体の長期的な試験研究戦略に基づいて、県内外の関係機関などと連携しながら、農業技術開発の目標と成果を明確にした上で、施策に即した試験研究を推進してゆく必要があります。

こうした中、本県の農業関係試験研究の歴史を回顧し、21世紀を見据え未来を展望することは、本県農業を発展させ、魅力あるものとするために、誠に意義深いものがあります。

この「広島県農業技術センター100年史」が、試験研究の発展のために十分に活用されるとともに、本センターの活動が今後とも十分な研究成果を挙げられるよう期待いたします。

平成11年10月

広島県知事

森田 隆一



## 刊行にあたって

本県の農業関係の試験研究は、めでたく100周年を迎えることができました。

明治、大正、昭和から平成へとその時代のいくつもの波を乗り越えながら技術開発を行ってきました。

今、この機に至って農業・農村の現場は、国際化を迎えるなど大きく変貌してきております。

本県においても、多様な気象や立地条件を有していることから、その地域の特性をいかに発揮して個性的な農業を展開していくかが大きな課題であります。

また、農産物は全て市場経済で動いている現状から、いかに付加価値をつけていくか更にコストの低減にどれだけ接近できるかが産業としての発展性を左右する鍵をにぎっているものと言えます。

この度、成立を見た新しい農業基本法は、農業という視点に加えて食料・環境という問題まで幅広く視野に入っており、生産者だけでなく消費者にとっても身近な法律となりました。このことを、21世紀に向けて当センターが技術面から本県農業の新たな活路を見い出していくための追い風にしていきたいと考えます。

この100年を節目に、研究機関としては、現状の農業・農村を直視して勇敢に未知への挑戦をしながら、本県にふさわしい革新的な技術の開発に邁進して参りたいと考えます。

関係各位の御指導等を切にお願いいたします。

平成11年10月

広島県立農業技術センター所長 **森 島 正 幸**



本所全景

広島県立農業技術センター  
100th  
Anniversary

# 百年史